

7月7-11日週のNZドル円レビュー

July 14, 2008

■ 8-9日で形成したレンジ内の動きに

High : 81.68 円 Low : 79.93 円

Close : 80.94 円 (前週比▲0.13 円)

今週の NZ ドルはもみ合いに。豪ドルに売りが集まったことで下落した豪ドル/NZ ドルに押される格好で、週半ばまでは堅調な推移を見せていたが、豪ドルが強い雇用統計をきっかけに反転上昇すると、逆に NZ ドルには下押し圧力が加わった。結局、8-9日 で上下を確認したレンジ内の推移に止まった。

■ 7/7 (月) 80.89 円 (前日比▲0.18 円)

小幅安。NY 時間にダウ平均が急反落したことから、ドル円が大幅に下落。クロス円も連れ安となり、一時 80.48 円まで下押しした。

■ 7/8 (火) 81.02 円 (前日比+0.13 円)

上下に振れる動き。イラン絡みの報道を受けた地政学リスクの高まりから、一時 79.93 円まで下落。しかしバーナンキ FRB 議長の発言を受けてドルが買い戻されると、クロス円も連れ高に。結局、東京時間の下げ幅を相殺して引けた。

■ 7/9 (水) 80.93 円 (前日比▲0.09 円)

小幅安。欧州時間までは小動きとなっていたが、NY 時間はダウの動きに連れる展開となった。ダウ平均が寄り付き後にプラス圏で推移していた間には 81.68 円まで上昇するも、その後にダウ平均が下落に転じるとそれまでの上げ幅を全て吐き出すかたちで引けた。

■ 7/10 (木) 81.24 円 (前日比+0.31 円)

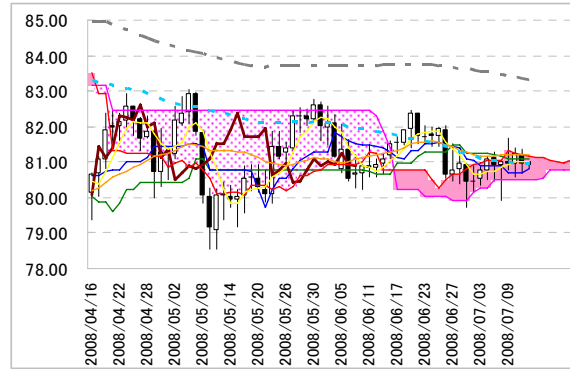
小幅反発。豪雇用統計を好感した豪ドル/NZ ドルの買いに押されて、東京時間はやや小緩んだが、ドル円が上昇に転じると NZ ドル買いが優勢に。81 円前半まで上値を伸ばして引けた。

■ 7/11 (金) 80.94 円 (前日比▲0.30 円)

反落。東京時間は前日からの底堅い動きを継続したが、米政府系住宅金融機関絡みの懸念を背景にドル売りが進むと、ドル円の下落に連れ安となった。一時 80.70 円まで下値を試す動きとなり、その後も 80 円後半で上値の重いまま引けた。

月日	High	Low
7/7 (月)	81.27 円	80.48 円
7/8 (火)	81.05 円	79.93 円
7/9 (水)	81.68 円	80.76 円
7/10 (木)	81.39 円	80.60 円
7/11 (金)	81.37 円	80.70 円

■ NZドル円の推移



■ テクニカル短期・中期ポイント

- 83.31 (200 日移動平均線)
- 83.04 (5 月 6 日高値)
- 82.76 (5 月 30 日高値)
- 82.44 (6 月 19 日高値)
- 81.21 (21 日移動平均線)
- == 先週末の NY クローズ 80.94 円 ==
- 80.81 (日足一目均衡表・転換線)
- 79.93 (7 月 8 日安値)
- 79.74 (7 月 1 日安値)
- 78.53 (5 月 9 日安値)

■ NZ の重要指標結果

- 7/10 (木) [結果] (前回)
- 6 月企業景況感 (PMI) [45.7] (47.9)

■ アウトルック ダイジェスト版

■ レンジ : 78.50 - 82.00 円

15 日発表の消費者物価指数ではさらにインフレ圧力が増す結果が予想されているが、これは NZ 準備銀行 (RBNZ) の想定内であり、明確な利下げ方針が確立されている NZ ドルにとって反発材料とはなりにくいだろう。それよりも週末にかけて集中する米金融機関の決算に注目したい。リスク回避の動きが高まりやすい環境へと向かう可能性が高いため、クロス円全体に下落圧力が加かることも考えられる。